

令和4年

消防統計

火災・救急・救助



西条市消防本部

火災編

目 次

【 令和4年 西条市火災統計 】

1	火災概要	1～2
2	火災統計	
(1)	火災の状況	3
(2)	曜日別出火件数及び損害額	4
(3)	時間帯別出火状況	4
(4)	1か月当たり及び1件当たりの火災の状況	5
(5)	署別火災状況	5
(6)	火災の推移	6
(7)	四季別出火状況	7
(8)	月別・火災種別出火件数及び損害額	7
(9)	月別・原因別出火件数	8
(10)	初期消火状況	9
(11)	覚知方法別出火件数	9

【 令和4年 西条市火災統計 】

1 火災概要

令和4年中に発生した火災の概要は、出火件数24件、焼損棟数32棟、建物焼損床面積1,624㎡、死者数1人、負傷者数2人、り災世帯数17世帯、り災人員35人、損害額64,154千円となった。

出火件数は、昨年と比較すると2件の増加となった。

(1) 出火件数

出火件数は24件で、前年と比較すると2件の増加となっている。これは、15.2日に1件の割合で火災が発生したことになる。

また、1カ月あたりの出火件数は2.0件となっている。

出火率(人口一人当たりの出火件数)は2.27で、全国の出火率(令和3年)2.78と比較すると0.51ポイント低くなっている。

ア 火災種別

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が18件(全火災の75.0%)で最も多く、次いでその他の火災が5件(20.8%)となっている。

イ 曜日別

出火件数を曜日別にみると、金曜日が6件で最も多く、次いで日曜日が5件、火曜日・土曜日が各4件となっている。

ウ 時間別

出火件数を時間別にみると、12時台が4件と最も多くなっている。

エ 月別

出火件数を月別にみると、3月・4月・11月が各3件で最も多く、次いで1月が2件、2月・5月・6月・8月・9月・10月・12月が各1件となっており、月別には顕著な差はなく年間を通じて出火している。

(2) 損害額等

ア 損害額

損害額は64,154千円で、火災1件あたりでは2,673千円となっている。

また、損害額を火災種別で見ると、建物火災が64,149千円で最も多く、全火災の99.9%を占めている。

イ 焼損棟数

建物火災での焼損棟数は32棟で、建物火災1件あたりの平均焼損棟数は1.8棟となっている。

ウ り災世帯数

り災世帯数は17世帯で、前年と比較すると7世帯増加している。

エ 死傷者数

火災による死者は1人、負傷者は2人発生し、前年と比較すると死者数が1人増加、負傷者は2人減少している。

(3) 出火原因

出火原因別にみると、たき火が5件で最も多く、次いで取灰・放火の疑いが各2件の順となっている。

(4) 初期消火状況

初期消火の状況をみると、初期消火実施件数が14件（58.3%）で、その内訳は、消火器、水道水等が各7件となっている。

(5) 覚知方法

火災覚知方法についてみると、火災報知専用電話（携帯）による通報が17件で最も多く、次いで事後聞知が4件となっている。

(6) まとめ

令和4年中における火災の状況を前年と比較すると、出火件数は2件増加し、損害額は前年の約1.9倍に増加している。また、他の項目を含め火災の推移を見ると概ね減少傾向にある。

火災による死者は1人で前年と比較すると1人増加、負傷者は2人減少し2人であった。

全国的にみると、住宅火災による死者数は平成17年以降減少傾向が続いているが、住宅火災による死者の約7割が65歳以上の高齢者であることを考えると、今後の高齢化の進展とともに、住宅火災による死者数の増加が懸念される。

また、高齢者が住宅用火災警報器による鳴動音で火災に気づいても、早期に避難できないことがあり、今後、高齢者に対する住宅用火災警報器設置並びに防災品の普及をはじめとする住宅防火対策も強力に推進していかなければならない。

住宅防火対策への取組みとして、春・秋の全国火災予防運動等の機会をとらえ、関係機関等と連携した普及啓発活動を行い、住宅用火災警報器のほか、防災品、住宅用消火器等による総合的な対策を推進していく必要がある。

2 火災統計

(1) 火災の状況

区 分	単 位	令 和 4 年	令 和 3 年	増 減
出 火 件 数	件	24	22	2
建 物		18	14	4
林 野		0	0	0
車 両		1	4	△ 3
船 舶		0	0	0
そ の 他		5	4	1
焼 損 棟 数	棟	32	16	16
全 焼		8	4	4
半 焼		1	1	0
部 分 焼		10	2	8
ぼ や		13	9	4
建物焼損床面積	㎡	1,624	772	852
建物焼損表面積		79	1	78
林野焼損面積	a	0	0	0
死 者	人	1	0	1
負 傷 者		2	4	△ 2
り 災 世 帯 数	世 帯	17	10	7
全 損		4	2	2
半 損		0	2	△ 2
小 損		13	6	7
り 災 人 員	人	35	26	9
損 害 額	千 円	64,154	34,963	29,191
建 物		64,149	26,353	37,796
林 野		0	0	0
車 両		5	8,538	△ 8,533
船 舶		0	0	0
そ の 他		0	72	△ 72
出 火 率		2.27	2.06	0.21
全国の出火率		—	2.78	—
人 口	人	105,616	106,842	△ 1,226

※ 注 1 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者も含む。以下同じ。

2 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

3 人口は、令和4年12月末現在の住民基本台帳による。

4 △は負数を表す。

(2) 曜日別出火件数及び損害額

区分	曜日								合計
	日	月	火	水	木	金	土	不明	
件数	5	3	4	2		6	4		24
損害額 (千円)	12,527	28,711	456	2,004		20,090	366		64,154

(3) 時間帯別出火状況

区分 時間	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		合計	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
0～1												
1～2	1	30									1	30
2～3	2	16,942									2	16,942
3～4	1	5									1	5
4～5												
5～6												
6～7	1	27,880							1	0	2	27,880
7～8												
8～9												
9～10	1	5,143							1	0	2	5,143
10～11												
11～12	1	21							1	0	2	0
12～13	3	13,147									3	13,147
13～14												
14～15	1	4									1	4
15～16	1	10			1	5					2	15
16～17									1	0	1	0
17～18	3	207									3	207
18～19	2	416									2	416
19～20												
20～21	1	344									1	344
21～22												
22～23												
23～24												
不明									1	0		
合計	18	64,149			1	5			5	0	24	64,154

(4) 1か月当たり及び1件当たりの火災の状況

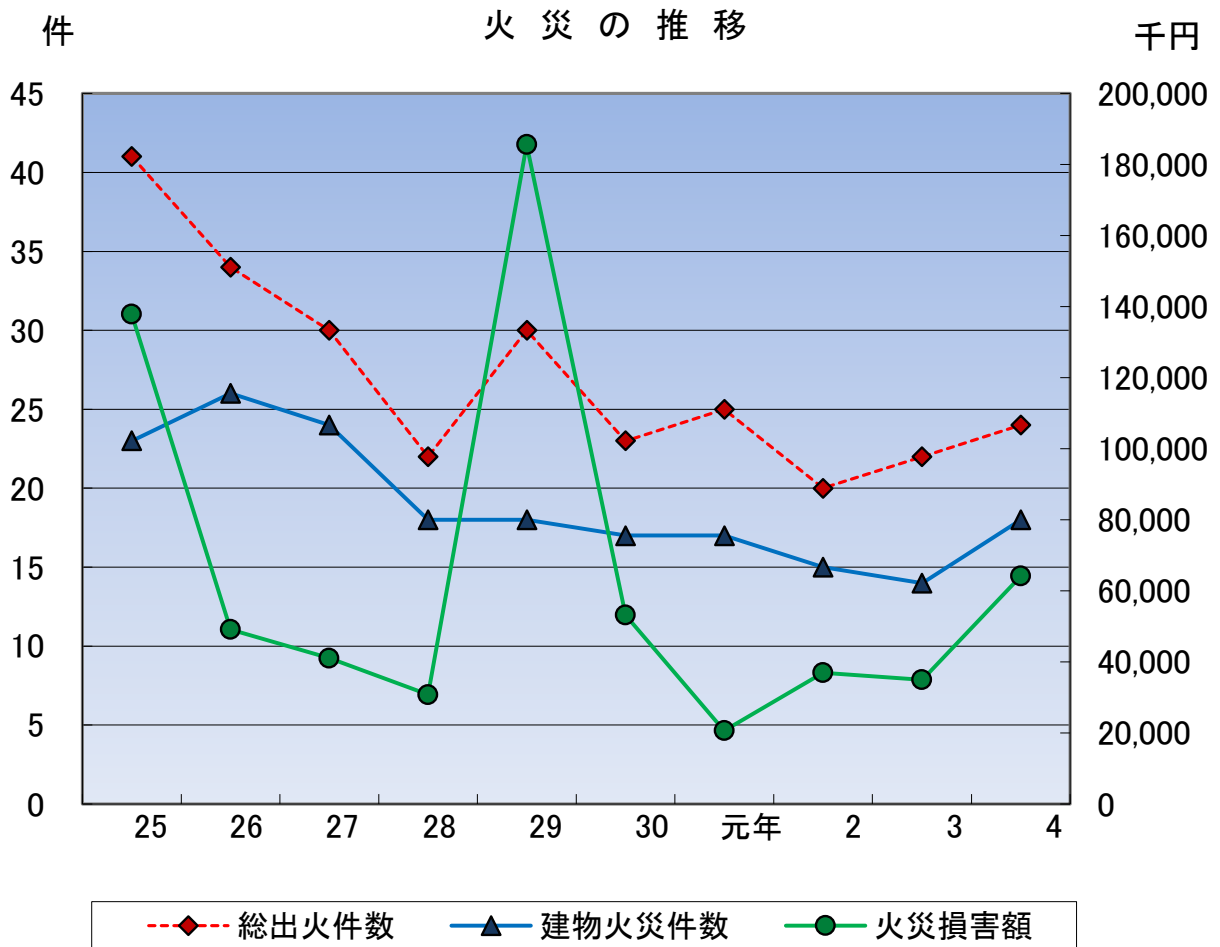
区 分		単 位	令 和 4 年	令 和 3 年
平 均 出 火 日 数		日	15.2	16.6
全火災1箇月平均火災件数		件	2.0	1.8
全火災1件当たり損害額		千円	2,673	1,589
建 物 火 災 1 件 当 たり	損 害 額	千円	3,564	1,882
	建物焼損床面積	m ²	90.2	55.1
	焼 損 棟 数	棟	1.8	1.1
	り 災 世 帯	世帯	0.9	0.7
	り 災 人 員	人	1.9	1.9
林 野 火 災 1 件 当 たり	損 害 額	千円	-	-
	林野焼損面積	a	-	-

(5) 署別火災状況

署 別 \ 区 分	件 数 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	建 物 焼 損 床面積(m ²)	建 物 焼 損 表面積(m ²)	林 野 焼 損 面積(a)	損 害 額 (千 円)
東 消 防 署	13	1	1	507	12		30,890
西 消 防 署	11		1	1,117	67		33,264
合 計	24	1	2	1,624	79		64,154

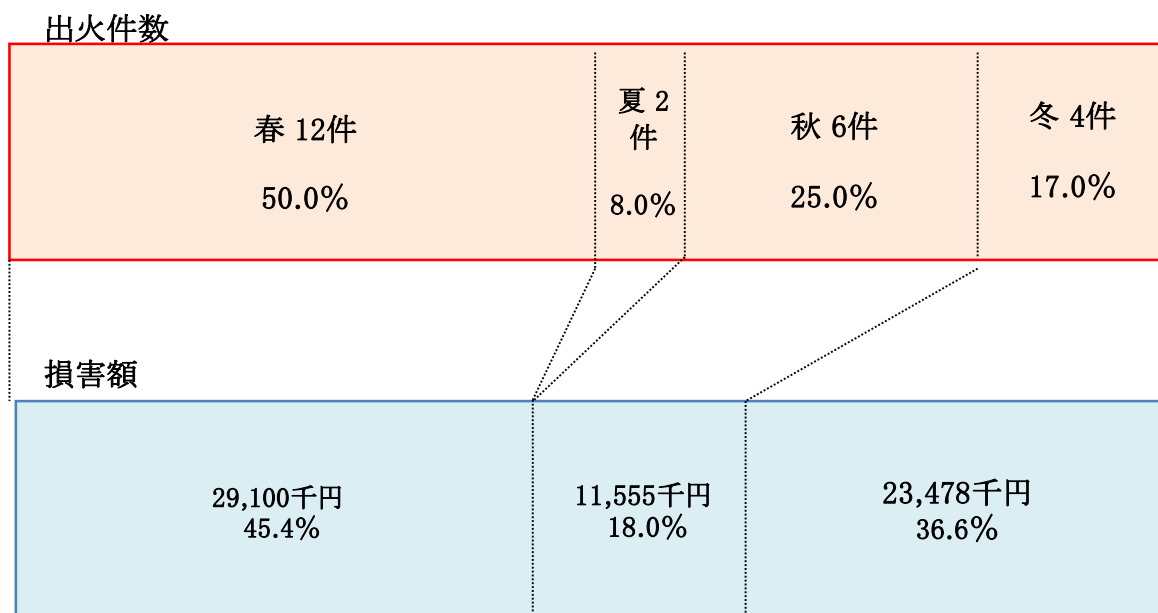
(6) 火災の推移

区分 年別	総出火件数 (件数)	建物火災件数 (件数)	火災損害額 (千円)
25	41	23	137,869
26	34	26	49,128
27	30	24	41,047
28	22	18	30,784
29	30	18	185,603
30	23	17	53,134
元	25	17	20,654
2	20	15	36,973
3	22	14	34,963
4	24	18	64,154



(7) 四季別出火状況

「春(3月～5月)・夏(6月～8月)・秋(9月～11月)・冬(12月～2月)」



※夏の損害額は21千円(0.03%)である。

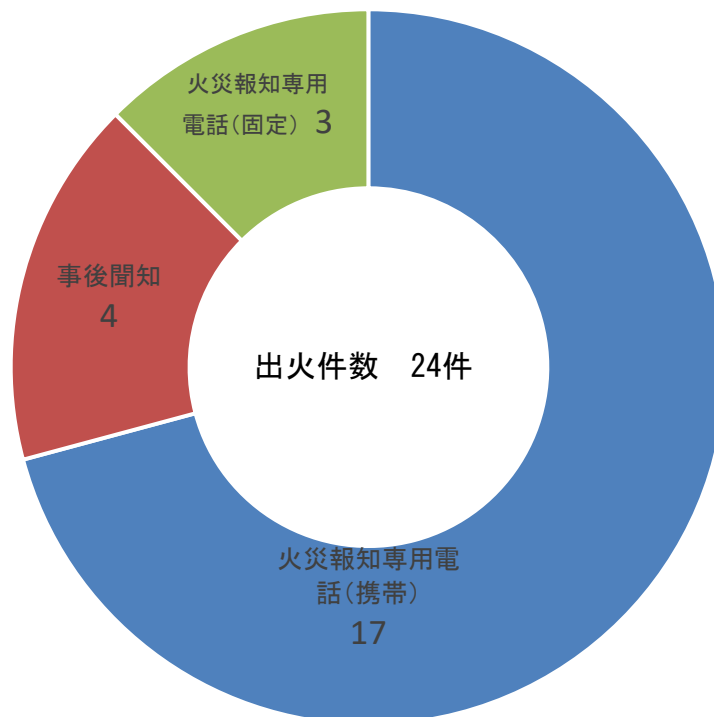
(8) 月別・火災種別出火件数及び損害額

区分 月別	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		合計	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
1	2	15,142									2	15,142
2	1	416									1	416
3	3	28,715							2	0	5	28,715
4	3	380							3	0	6	380
5	1	5									1	5
6	1	21									1	21
7												
8	1	0									1	0
9	1	2,000			1	5					2	2,005
10	1	1									1	1
11	3	9,549									3	9,549
12	1	7,920									1	7,920
合計	18	64,149			1	5			5	0	24	64,154

(10) 初期消火状況

区分	出火件数	初期消火あり					初期消火なし
		小計	消火器	水道水・汲み置き水等	水バケツ	その他	
建物	18	11	6	5			7
林野							
車両	1	1	1				
船舶							
その他	5	2		2			3
合計	24	14	7	7			10

(11) 覚知方法別出火件数



救急編

目 次

【 令和4年 西条市救急統計 】

1	救急概要	10～13
2	救急統計	
(1)	事故種別・月別救急状況	14
(2)	署所別救急状況	15
(3)	月別・時間別救急出動状況	16
(4)	月別・曜日別救急出動状況	16
(5)	搬送者の性別・年齢別救急状況	17
(6)	傷病程度別搬送人員	17
(7)	所要時間別救急状況	18
(8)	事故種別救急状況前年との比較	19

【 令和4年 西条市救急統計 】

1 救急概要

令和4年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数6,476件、搬送人員5,811人となっている。

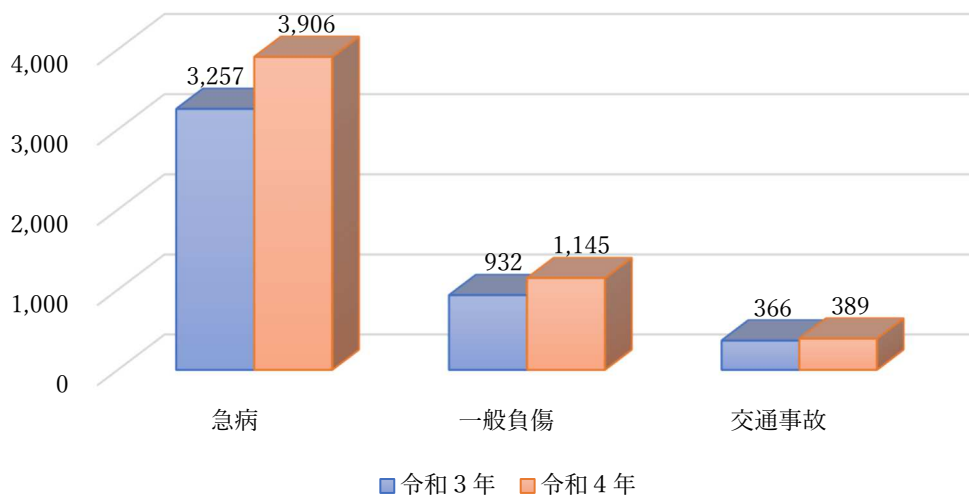
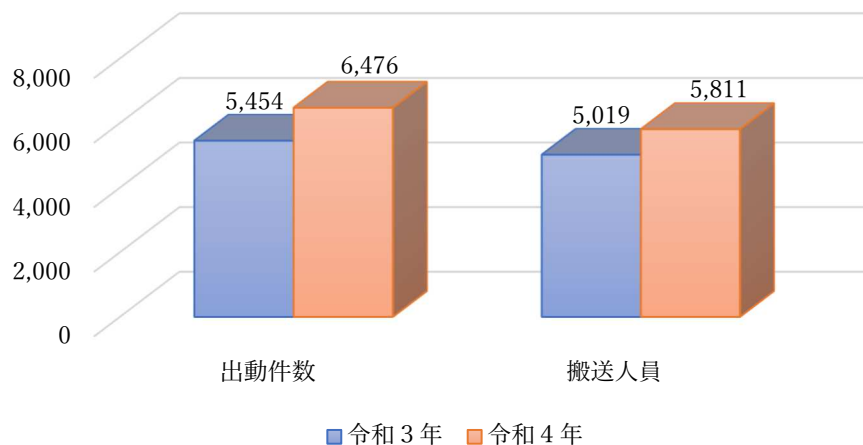
本市の1日当たりの救急出動件数は約17.7件、搬送人員は約15.9人となっており、これは、年間に市民の約18人に1人が救急搬送されたことになる。

事故種別の第1位は急病の3,906件(60.3%)で、次いで一般負傷の1,145件(17.7%)となっている。

(1) 前年との救急件数・搬送人員の比較

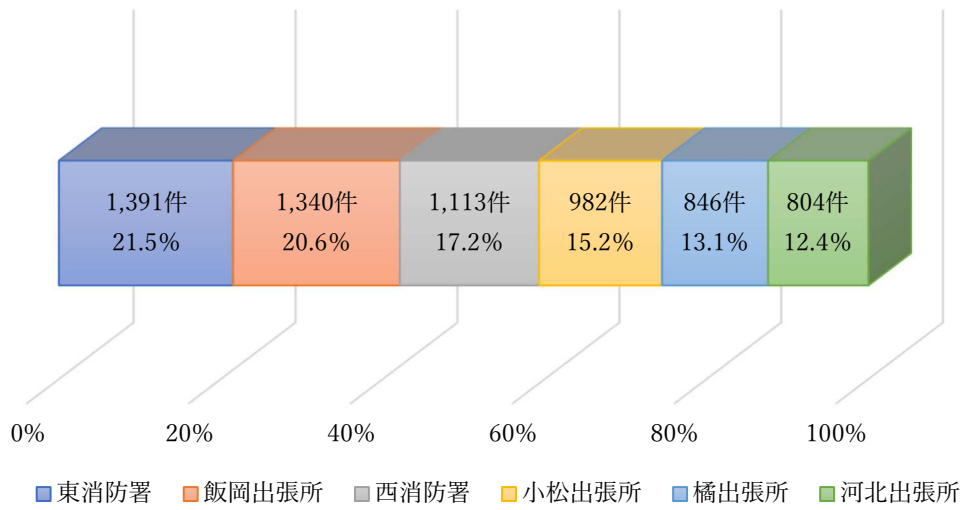
出動件数は前年比1,022件(18.7%)増加し、搬送人員も前年比792人(15.8%)増加している。

事故種別でみると急病が649件(19.9%)、一般負傷が213件(22.9%)、交通事故23件(6.3%)増加している。



(2) 救急隊別の出動状況

東消防署では1,391件(21.5%)、次いで飯岡出張所は1,340件(20.6%)、西消防署は1,113件(17.2%)、小松出張所は982件(15.2%)、橘出張所は846件(13.1%)、河北出張所が804件(12.4%)となっている。



(3) 時間帯別の出動状況

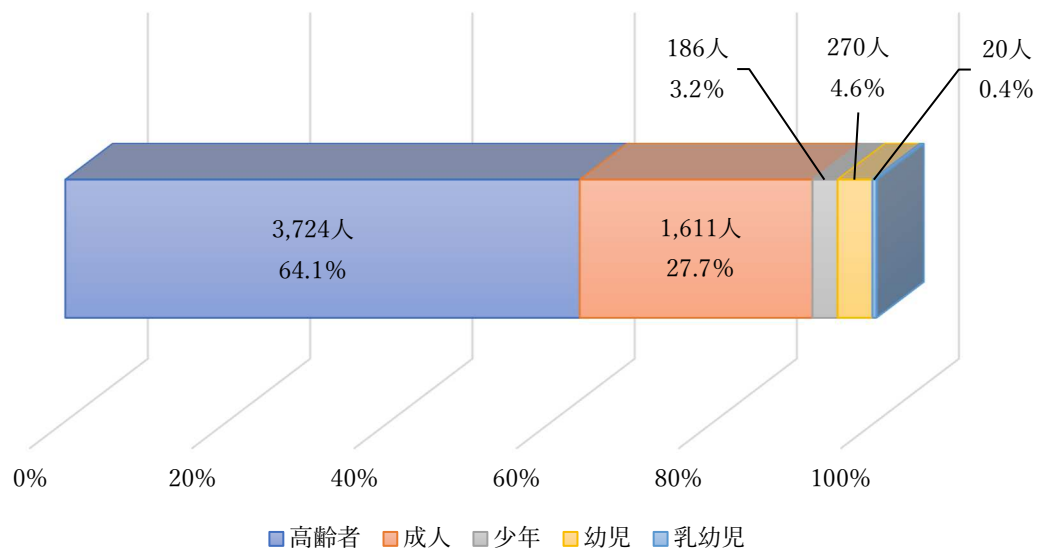
1番多い時間帯は10時から12時で878件であり全体の13.6%を占めている。1番少ない時間帯は2時から4時までの240件で全体の3.7%となっている。

(4) 曜日別の出動状況

日曜日及び月曜日が986件(15.2%)と最も多く、次いで土曜日が980件(15.1%)、火曜日の917件(14.2%)となっている。

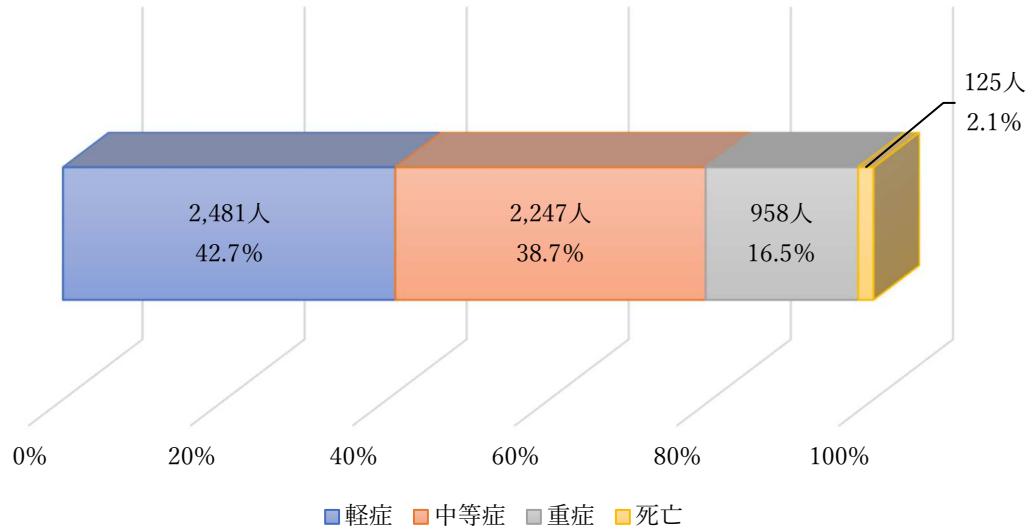
(5) 年齢別の搬送状況

高齢者(満65歳以上)が3,724人(64.1%)と最も多く、次いで成人の1,611人(27.7%)となっている。



(6) 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,481 人 (42.7%) と最も多くなっている。中等症については 2,247 人 (38.7%)、重症では 958 人 (16.5%) となっている。

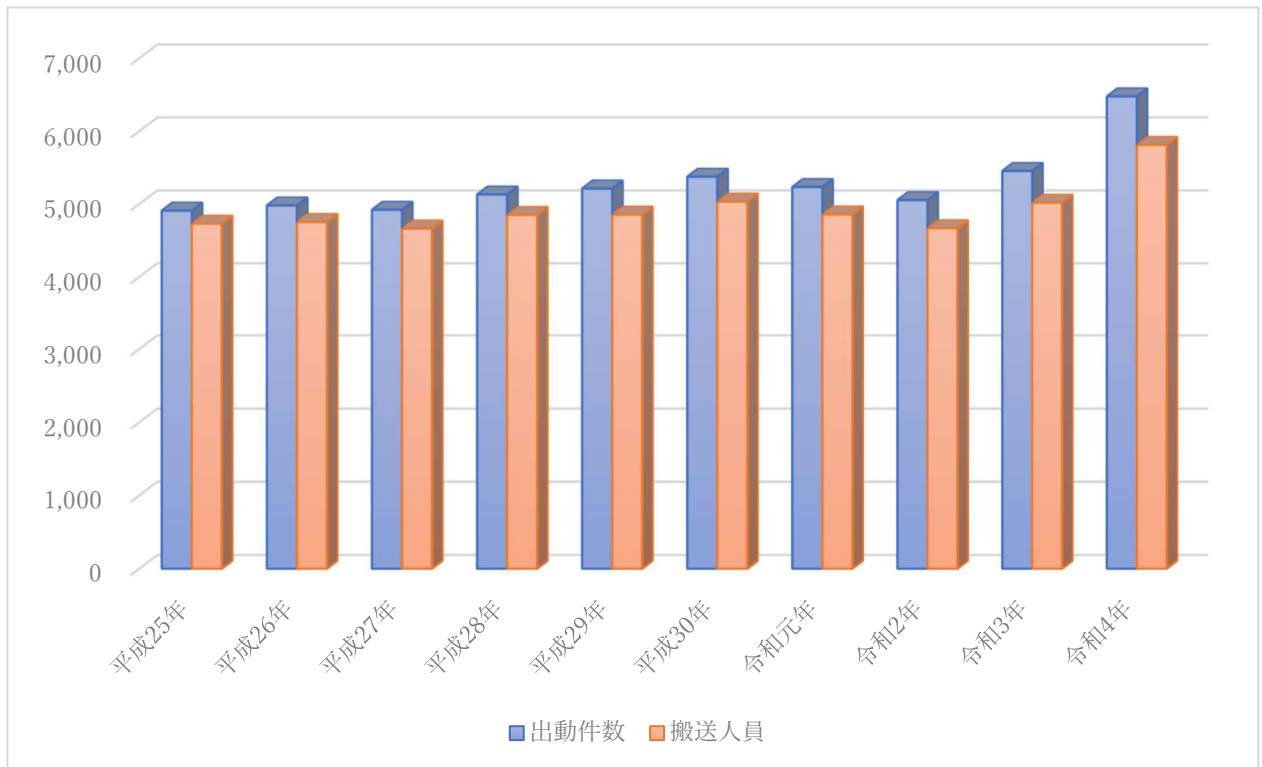


(7) 所要時間別の出動状況

覚知から現場到着までの時間は、5分以上10分未満が 3,542 件 (54.7%) と半数以上を占め、覚知から医療機関収容までの時間は、30分以上60分未満が 4,285 人 (73.7%) となっている。

令和4年の覚知から現場到着までの平均所要時間は、10.1分 (前年 9.1分)、覚知から病院収容までの平均所要時間は 45.7分 (前年 41.9分) となっている。

(8) 救急出動件数及び搬送人員の過去10年間の推移



(9) まとめ

令和4年中における救急出動件数・搬送人員を前年と比較すると出動件数(1,022件)、搬送人員(792人)ともに増加した。

過去10年間の推移では増加や減少した年があるが、令和4年の増加は、新型コロナウイルスの感染拡大を反映しており、西条消防始まって以来の最も高い数値になっている。

8月18日から9月26日の間、緊急性の高い症状の傷病者に、できるだけ早く救急車が到着できる体制の構築および運用救急隊の負担軽減を目的に消防本部日勤者で編成する日勤救急隊として、保健所からの依頼で新型コロナウイルス陽性者の移送対応で6件出動した。

救急体制については、令和4年12月末日現在、救急救命士有資格者36名の内、30名が救急業務に従事し、気管挿管認定31名、薬剤投与認定35名、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液及び低血糖発作事例へのブドウ糖溶液の投与認定32名、ビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管挿管認定15名となっている。

指導救命士を東署へ2名、西署へ3名合計5名配置し、「救急隊員生涯教育」・「口頭指導技術発表会」などを行い教育体制の充実を図っている。

その他、応急手当普及啓発活動については、感染拡大防止対策として「中学1・2年生を対象とした救命入門コースのリモート講習」、「応急手当普及啓発動画作成」など、市民に対し非接触での啓発活動も行った。

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが2類相当から5類(季節性インフルエンザ等)への移行が決定した。感染予防対策の課題、問題点が出てくるが、今後も引き続き医療機関や保健所などと連携強化を図り救命率の向上、傷病者の予後改善を目指したい。

2 救急統計

(1) 事故種別・月別救急状況

事故種別		月別 合計	構成 (%) 比	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
出動件数		6,476	100	503	465	468	491	494	497	589	668	495	615	575	616
搬送人員		5,811	100	452	423	415	448	463	450	533	590	448	549	507	533
火災	出動件数	19	0.3	3		4	5		1		1			2	3
	搬送人員	2	0.0				1								1
自然災害	出動件数	1	0.0									1			
	搬送人員	1	0.0									1			
水難	出動件数	7	0.1	1	2		1			1	1	1			
	搬送人員	1	0.0								1				
交通事故	出動件数	389	6.0	23	30	31	31	37	33	27	37	28	39	41	32
	搬送人員	370	6.4	20	26	30	31	39	31	25	36	27	42	37	26
労働災害	出動件数	63	1.0	1	6	2	4	4	8	10	11	5	5	4	3
	搬送人員	62	1.1	1	6	2	4	4	8	10	10	5	5	4	3
運動競技	出動件数	24	0.4				3	6	4	3	2	3	2		1
	搬送人員	22	0.4				3	6	4	3	1	3	2		
一般負傷	出動件数	1,145	17.7	89	80	87	89	84	95	98	102	80	140	97	104
	搬送人員	1,061	18.3	84	79	80	84	79	85	90	94	77	130	88	91
加害	出動件数	21	0.3	1		1	1	4	4	1		1	6		2
	搬送人員	16	0.3	1		1	1	3	3	1		1	4		1
自損行為	出動件数	52	0.8	2	2	4	6	7	6	2	6	5	2	7	3
	搬送人員	32	0.6	1	2	1	5	5	3	1	4	4		5	1
急病	出動件数	3,906	60.3	305	292	275	281	284	292	390	421	295	341	338	392
	搬送人員	3,430	59.0	269	259	238	254	261	265	348	365	257	288	291	335
その他	出動件数	849	13.1	78	53	64	70	68	54	57	87	76	80	86	76
	搬送人員	814	14.0	76	51	63	65	66	51	55	79	73	78	82	75

(2) 署所別救急状況

事故種別		署所別	合計	東消防署				西消防署			
				小計	東署	橘出張所	飯岡出張所	小計	西署	小松出張所	河北出張所
出動件数			6,476	3,577	1,391	846	1,340	2,899	1,113	982	804
搬送人員			5,811	3,149	1,205	738	1,206	2,662	1,002	930	730
火災	出動件数		19	9	1	3	5	10		6	4
	搬送人員		2	1			1	1		1	
自然災害	出動件数		1	1	1						
	搬送人員		1	1	1						
水難	出動件数		7	7	4	1	2				
	搬送人員		1	1			1				
交通事故	出動件数		389	217	91	49	77	172	77	54	41
	搬送人員		370	201	80	46	75	169	75	52	42
労働災害	出動件数		63	32	19	5	8	31	16	6	9
	搬送人員		62	31	18	5	8	31	16	6	9
運動競技	出動件数		24	12	6		6	12	3	4	5
	搬送人員		22	11	6		5	11	3	4	4
一般負傷	出動件数		1,145	611	257	153	201	534	212	168	154
	搬送人員		1,061	555	228	141	186	506	201	161	144
加害	出動件数		21	19	8	6	5	2		1	1
	搬送人員		16	15	6	5	4	1		1	
自損行為	出動件数		52	29	8	10	11	23	9	7	7
	搬送人員		32	19	6	6	7	13	6	4	3
急病	出動件数		3,906	2,149	875	532	742	1,757	704	543	510
	搬送人員		3,430	1,849	751	453	645	1,581	614	511	456
その他	出動件数		849	491	121	87	283	358	92	193	73
	搬送人員		814	465	109	82	274	349	87	190	72

(3) 月別・時間別救急出動状況

時間別 \ 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	6,476	503	465	468	491	494	497	589	668	495	615	575	616
0～2	270	18	22	21	27	16	28	24	25	18	23	25	23
2～4	240	17	14	19	15	24	18	22	23	22	23	23	20
4～6	251	21	19	15	18	20	22	19	28	19	30	17	23
6～8	450	38	28	28	42	36	32	45	47	30	39	47	38
8～10	786	69	52	71	57	64	64	79	78	54	66	62	70
10～12	878	66	77	64	71	69	60	68	103	61	73	83	83
12～14	723	50	62	53	54	50	51	56	81	53	75	69	69
14～16	658	48	50	58	46	41	52	62	69	63	62	54	53
16～18	634	43	41	43	49	41	51	57	70	54	61	60	64
18～20	645	64	43	32	39	49	48	65	68	55	62	52	68
20～22	524	41	33	36	44	46	36	45	46	39	55	43	60
22～24	417	28	24	28	29	38	35	47	30	27	46	40	45

(4) 月別・曜日別救急出動状況

月別 \ 曜日別	合計	日	月	火	水	木	金	土
合計	6,476	986	986	917	898	866	843	980
1月	503	80	70	83	53	53	60	104
2月	465	66	99	61	67	62	50	60
3月	468	78	64	59	81	76	48	62
4月	491	64	75	72	62	62	65	91
5月	494	98	79	84	61	68	57	47
6月	497	59	60	70	81	77	74	76
7月	589	91	70	89	75	71	97	96
8月	668	101	113	95	100	100	78	81
9月	495	77	68	53	76	75	73	73
10月	615	119	103	83	69	68	52	121
11月	575	73	90	87	103	70	70	82
12月	616	80	95	81	70	84	119	87

(5) 搬送者の性別・年齢別救急状況

年齢別	月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	計		男	女										
合計	計	5,811	452	423	415	448	463	450	533	590	448	549	507	533
	男	2,996	235	208	218	231	240	226	275	325	224	307	244	263
	女	2,815	217	215	197	217	223	224	258	265	224	242	263	270
新生児 0～28日未満	男	11	2		1	1		1			1	3		2
	女	9	1		1		1	2			1		1	2
乳幼児 28日～7才未満	男	162	13	8	13	12	16	14	14	17	6	9	20	20
	女	108	13	3	6	5	9	7	10	12	9	13	10	11
少年 7才～18歳未満	男	106	4	5	2	7	14	6	13	17	11	12	7	8
	女	80	4	5	5	7	9	4	12	10	3	4	7	10
成人 18才～65才未満	男	965	73	57	67	81	91	69	83	109	71	119	73	72
	女	646	50	45	36	50	61	59	50	77	52	57	48	61
高齢者 65才以上	男	1,752	143	138	135	130	119	136	165	182	135	164	144	161
	女	1,972	149	162	149	155	143	152	186	166	159	168	197	186

(6) 傷病程度別搬送人員

事故種別	傷病程度	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
合計		5,811	125	958	2,247	2,481	
火災		2		1		1	
自然災害		1			1		
水難		1			1		
交通事故		370	1	38	84	247	
労働災害		62		9	13	40	
運動競技		22		2	8	12	
一般負傷		1,061	12	181	315	553	
加害		16			2	14	
自損行為		32	5	7	9	11	
急病		3,430	107	485	1,297	1,541	
その他		814		235	517	62	

(注) 傷病程度の区分

1. 死亡とは、初診時に死亡が確認されたものをいう。
2. 重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
3. 中等症とは、傷病の程度が3週間未満の入院加療を必要とするものをいう。
4. 軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないものをいう。
5. その他とは、医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したものをいう。

(7) 所要時間別救急状況

ア 現場到着所要時間別出動件数

事故種別	時間別	合 計	所要時間				
			3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
合 計		6,476	85	179	3,542	2,505	165
急 病		3,906	47	72	2,086	1,610	91
交通事故		389	3	15	209	142	20
一般負傷		1,145	9	20	644	441	31
上記以外		1,036	26	72	603	312	23

イ 医療機関収容所要時間別搬送人員

事故種別	時間別	合 計		10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上	
			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
合 計		5,811	1,368	1		36	2	633	44	4,285	910	833	396	23	16
急 病		3,430	680			16		318	6	2,534	428	551	239	11	7
交通事故		370	55			2		39		265	33	60	20	4	2
一般負傷		1,061	128			3		98		828	74	126	49	6	5
上記以外		950	505	1		15	2	178	38	658	375	96	88	2	2

(8) 事故種別救急状況前年との比較

事故種別	対前年比 件数・人員	令和4年	令和3年	対前年比	
				増減数	増減率 (%)
合 計	出動件数	6,476	5,454	1,022	18.7
	搬送人員	5,811	5,019	792	15.8
火 災	出動件数	19	15	4	26.7
	搬送人員	2	3	△ 1	△ 33.3
自然災害	出動件数	1		1	100.0
	搬送人員	1		1	100.0
水 難	出動件数	7	5	2	40.0
	搬送人員	1	2	△ 1	△ 50.0
交通事故	出動件数	389	366	23	6.3
	搬送人員	370	348	22	6.3
労働災害	出動件数	63	50	13	26.0
	搬送人員	62	49	13	26.5
運動競技	出動件数	24	22	2	9.1
	搬送人員	22	21	1	4.8
一般負傷	出動件数	1,145	932	213	22.9
	搬送人員	1,061	870	191	22.0
加 害	出動件数	21	16	5	31.3
	搬送人員	16	15	1	6.7
自損行為	出動件数	52	39	13	33.3
	搬送人員	32	24	8	33.3
急 病	出動件数	3,906	3,257	649	19.9
	搬送人員	3,430	2,964	466	15.7
そ の 他	出動件数	849	752	97	12.9
	搬送人員	814	723	91	12.6

(注) 1. 増減率とは、増減数を前年の数値で割ったものをいう。

2. 増減数・増減率の△印はマイナスを示す。

救助編

目 次

【 令和4年 西条市救助統計 】

1	救助概要	20
2	救助活動状況	20・21
3	救助統計	
(1)	事故種別救助状況	22
(2)	事故種別救助出動車両の状況	23
(3)	事故種別・発生場所別救助状況	24
(4)	事故種別・救助出動人員及び活動人員の状況	25
(5)	署別救助状況	25
(6)	救助隊員の訓練状況	26

【 令和 4 年 西条市救助統計 】

1 救助概要

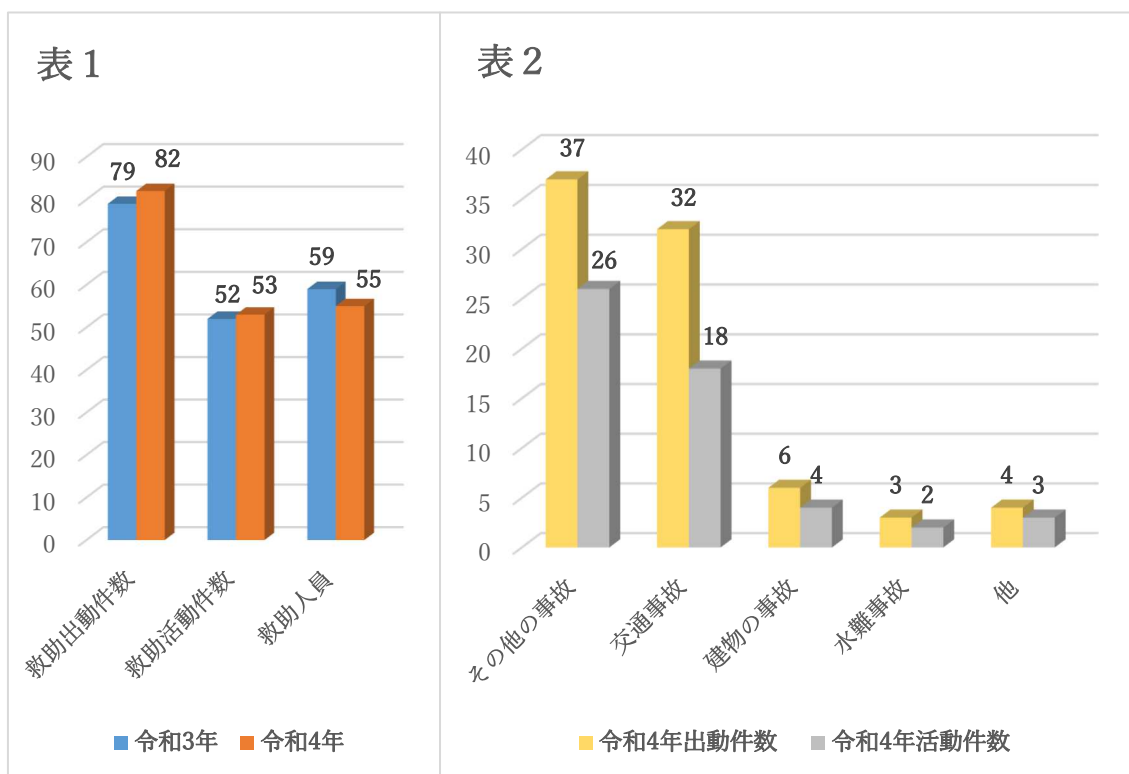
令和 4 年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数 82 件（前年比 3 件増）、救助活動件数 53 件（前年比 1 件増）、救助人員 55 人（前年比 4 人減）となっている。（表 1 のとおり）

2 救助活動状況

(1) 事故種別救助出動及び活動の状況

事故種別ごとに救助状況をみると、出動件数で最も多いのは、その他の事故 37 件(45.1%)、次いで交通事故 32 件(39.0%)、建物等の事故 6 件(7.3%)、水難事故 3 件(3.7%)の順となっている。

また、活動件数で最も多いのは、その他の事故で 26 件(49.1%)、次いで交通事故 18 件(34.0%)、建物等の事故 4 件(7.5%)、水難事故 2 件(3.8%)の順になっている。（表 2 のとおり）



(2) 事故種別救助出動車両及び活動車両の状況

出動車両数をみると、救急車が最も多く 86 台、次いで救助工作車 67 台、消防ポンプ車 50 台の順となっている。

また、活動車両数をみると、救急車が最も多く 57 台、次いで救助工作車

46 台、消防ポンプ車 34 台の順となっている。

事故種別ごとの出動車両数は、交通事故が最も多く 111 台、次いでその他の事故 88 台、水難事故 16 台、建物等の事故 15 台の順となっている。

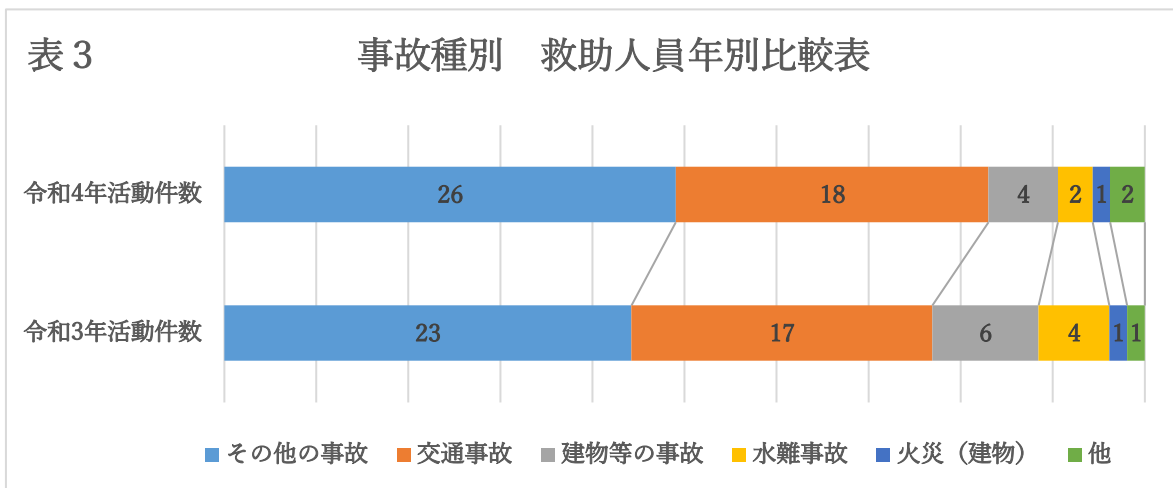
(3) 救助出動人員及び救助活動人員の状況

出動人員数は 685 人で、その内訳は、救助隊員（兼任）が 337 人、救急隊員が 254 人、消防隊員 94 人となっている。

また、活動人員数は 450 人で、その内訳は、救助隊員（兼任）が 214 人、救急隊員が 169 人、消防隊員 67 人となっている。

(4) 署別救助出動及び救助人員の状況

出動件数を署別で見ると、東消防署 45 件、西消防署 37 件で、活動件数は、東消防署 29 件、西消防署 24 件となり、救助人員は、東消防署 27 人、西消防署 28 人となっている。



(5) まとめ

令和 4 年中における救助の状況を前年と比較すると、出動件数が 3 件増加、活動件数が 1 件増加、救助人員が 4 名減少した。

出動件数で多くの割合を占めているのが、その他の事故の 37 件である。その中でも山岳救助件数が多数を占めており、アウトドアブームの後押しもありこれからも増加が予想される。

3 救助統計

(1) 事故種別救助状況

事故種別	区分 対前年 件数・人員	R4年中	構成比 (%)	R3年中	構成比 (%)	増 減
		火 災 (建 物)	出 動 件 数	1	1.2	1
	活 動 件 数	1	1.9	1	1.9	0
	救 助 人 員	1	1.8	2	3.4	△ 1
火 災 (建物以外)	出 動 件 数					
	活 動 件 数					
	救 助 人 員					
交通事故	出 動 件 数	32	39.0	24	30.4	8
	活 動 件 数	18	34.0	17	32.7	1
	救 助 人 員	22	40.0	19	32.2	3
水難事故	出 動 件 数	3	3.7	4	5.1	△ 1
	活 動 件 数	2	3.8	4	7.7	△ 2
	救 助 人 員	1	1.8	5	8.5	△ 4
自然災害	出 動 件 数					
	活 動 件 数					
	救 助 人 員					
機械等の 事 故	出 動 件 数	1	1.2	2	2.5	△ 1
	活 動 件 数	1	1.9	1	1.9	0
	救 助 人 員	1	1.8	1	1.7	0
建物等の 事 故	出 動 件 数	6	7.3	7	8.9	△ 1
	活 動 件 数	4	7.5	6	11.5	△ 2
	救 助 人 員	5	9.1	5	8.5	0
ガス・酸欠 事 故	出 動 件 数	2	2.4			2
	活 動 件 数	1	1.9			1
	救 助 人 員					0
破 裂 事 故	出 動 件 数					
	活 動 件 数					
	救 助 人 員					
その他の 事 故	出 動 件 数	37	45.1	41	51.9	△ 4
	活 動 件 数	26	49.1	23	44.2	3
	救 助 人 員	25	45.5	27	45.8	△ 2
合 計	出 動 件 数	82	100.0	79	100.0	3
	活 動 件 数	53	100.0	52	100.0	1
	救 助 人 員	55	100.0	59	100.0	△ 4

(注) 「火災」においては、救助隊及び消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

(注) △はマイナスを表す。

(2) 事故種別救助出動車両の状況

(単位:台)

車両区分		事故種別		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械等 の事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	合計	
		火 災											
		建 物	建物以外										
出 動 車 両	救助	出動		32	3		1	6	2		23	67	
	工作車	活動		18	2		1	4	1		20	46	
	消防 ポンプ車	出動	2		32	2		1	3	2		8	50
		活動	2		17	2		1	3	1		8	34
	はしご車	出動											
		活動											
	化学車	出動			1							2	3
		活動										1	1
	指令車	出動				3							3
		活動				2							2
	救急車	出動	1		42	4		1	6	2		30	86
		活動	1		23	3		1	4	1		24	57
	船舶	出動											
		活動											
	ヘリコプター	出動											
		活動											
その他	出動	2		4	4				1		25	36	
	活動	2		4	4				1		9	20	
消防 団車両	出動												
	活動												
合 計	出動	5		111	16		3	15	7		88	245	
	活動	5		62	13		3	11	4		62	160	

(注) 「火災」においては、救助隊及び消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

(3) 事故種別・発生場所別救助状況

(単位:件、人)

発生場所		事故種別	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械等 の事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	合計	
			建物	建物以外										
屋 内	住居	出動	1						6	1		9	17	
		活動	1						4	1		8	14	
		人員	1						5			8	14	
	その他の 屋内	出動										1	1	
		活動										1	1	
		人員										1	1	
屋 外	道路	高速 国道	出動		6								6	
			活動			2								2
			人員			2								2
		他	出動			22						1		23
			活動			13								13
			人員			17								17
	水面	内水面	出動			3							1	4
			活動			2							1	3
			人員			2							1	3
		外水面	出動				3							3
			活動				2							2
			人員				1							1
山岳 その他 の屋外	山岳	出動										14	14	
		活動										6	6	
		人員										5	5	
	その他 の屋外	出動			1			1					12	14
		活動			1			1					10	12
		人員			1			1					10	12
地下	出動													
	活動													
	人員													
その他	出動													
	活動													
	人員													
合計	出動	1		32	3		1	6	2			37	82	
	活動	1		18	2		1	4	1			26	53	
	人員	1		22	1		1	5				25	55	

- (注) 1. 高速国道とは、高速自動車国道法第7条第1項並びに高速自動車国道法施行令第3条第1項及び第2項の規定に基づく公示された区域をいう。
2. 内水面とは、河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中をいう。
(ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。)
3. 外水面とは、内水面以外の水上又は水中をいう。
4. 「火災」においては、救助隊及び消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

(4) 事故種別・救助出動人員及び活動人員の状況

(単位：人)

事故種別 区分		火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械等 の事故	建物等 の事故	ガス・酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	合 計
		建 物	建物以外									
出 動 人 員	救助隊 専任											
	救助隊 兼任	5		135	14		4	21	8		150	337
	消防隊員	8		47	11		1	3	4		20	94
	救急隊員	3		123	13		3	18	6		88	254
	合 計	16		305	38		8	42	18		258	685
活 動 人 員	救助隊 専任											
	救助隊 兼任	5		76	11		4	15	5		98	214
	消防隊員	8		26	10		1	3	3		16	67
	救急隊員	3		66	10		3	12	3		72	169
	合 計	16		168	31		8	30	11		186	450

(注) 「火災」においては、救助隊及び消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

(5) 署別救助状況

事故種別 署 別	東消防署			西消防署			合 計		
	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災 (建 物)				1	1	1	1	1	1
火 災 (建物以外)									
交 通 事 故	11	6	6	21	12	16	32	18	22
水 難 事 故	3	2	1				3	2	1
自 然 災 害									
機 械 等 の 事 故				1	1	1	1	1	1
建 物 等 の 事 故	4	3	3	2	1	2	6	4	5
ガ ス ・ 酸 欠 事 故	1			1	1		2	1	
破 裂 事 故									
そ の 他 の 事 故	26	18	17	11	8	8	37	26	25
合 計	45	29	27	37	24	28	82	53	55

(6) 救助隊員の訓練状況

区分 訓練内容	回数	対象 延べ人数	1回当りの 参加人数	訓練 時間(分)	1回当りの 実施時間(分)	備考
体力練成訓練	292	1,420	4.8	17,870	61.1	
ロープ基本・応用訓練	94	404	4.2	8,785	93.4	
検索・救助訓練	94	461	4.9	12,940	137.6	
各種資機材取扱い訓練	1,055	4,085	3.8	26,903	25.5	
救助想定訓練	87	392	4.5	8,490	97.5	
その他	14	61	4.3	1,530	109.2	
合計	1,636	6,823	4.1	76,518	46.7	

※ 1署1日当りの平均訓練実施時間：約104.8分